

H・アール・カオス

# 春の祭典

世界で絶賛されているH・アール・カオス「春の祭典」  
その名作が生まれたKPOキリンプラザ大阪で再び上演

H・アール・カオス「春の祭典」+「小作品(新作)」

4月16日(金) 開場18:30 / 開演19:30~

4月17日(土) 開場18:30 / 開演19:30~

4月18日(日) 開場15:00 / 開演16:00~

## KPO キリンプラザ大阪

料 金：当日券5,000円(前売り券4,500円)

チケット発売日：3月6日(土)

問い合わせ先：KPOキリンプラザ大阪 06-6212-6578

チケット取扱：チケットぴあ 0570-02-9999

プロデュース：立川直樹

構成・演出・振付：大島早紀子

出 演：白河直子/木戸紫乃/泉水利枝/小林史佳/斉木香里

企画制作：H・アール・カオス/有限会社東京アートファクトリー

主 催：KPOキリンプラザ大阪

URL：<http://www.kirin.co.jp/kpo/>

photo by inri



KPO  
KIRIN PLAZA OSAKA

KIRIN  
LOVESART

ART CHAOS



# H・アール・カオスが初演の地・KPOキリンプラザ大阪を衝撃的空間に変える 代表作「春の祭典」8年ぶり奇跡の凱旋公演

1997.11.19 トロント日刊紙 THE TORONTO STAR by William Littler

## 「観客は飛び上がった!」(アンコールで)

ニジンスキーによって歴史的に高い論議をもって受け継がれる「春の祭典」は今日までマクミラン、モーリス・ベジャールという成功者をもたらした。そしてここにははっきりと力をもってYESといえる。大島の「春の祭典」は歴史に残る高貴なもの、目標をもたれる作品なのである。何というパフォーマンスなのだ。大島の「春の祭典」は視覚的な演出も含めてストラヴィンスキーの根本的な噴火した力強い作曲のエネルギーを、最も引き出して、これ以上のものはないのではないか。観客が飛び上がったのは意味がないわけではない。

2000.9.15 リンツ日刊紙 Courtesy Oberosterreichische Nachrichten by Silvia Kitzmantel

## 「1913年のスキャンダル、2000年の勝利」

1913年パリで上演されたニジンスキーによる初演は、ひとつのスキャンダルだったが、2000年リンツで上演された大島早紀子による「春の祭典」の初演。それは勝利そのものだった。H・アール・カオスは、独特のしかも信じられない程作品の奥深くまで入り込んだ手法で「春の犠牲」である主人公に迫った。

2001.6.5 シンガポール日刊紙 The Business Times by Cheah Ui-Hoon

今年のアートフェスティバルのオープニングを飾ったH・アール・カオスのダンスパフォーマンスは強烈なものであり、人間の身体は優美さを損なわずに何が出来るか、という私達の理解を広げてくれた。その印象は、明快であった。彼女達の動きは、技術的に力強く、舞台セットの芸術性は詩的である。しかし最も注目すべきことは、大島早紀子の強くてあかさなテーマである。

キリンアートアワードが、まだキリン・コンテンポラリー・アワードと呼ばれていた時代に、H・アール・カオスは文字通り、彗星の如く、僕の前に出現した。

ビデオのモニターの中に映し出された、スケールが大きく、十分な美意識にあふれたパフォーマンス。

それはまた、彼女たちが従来の日本のダンスカンパニーと違って、世界を視点に置いていることをはっきりと予見させてくれたが、それから数年もしないうちにKPOキリンプラザ大阪でリハーサルを重ね、創り上げられた「春の祭典」は、その確かな証しになった。

ダンサーの肉体だけでなく、舞台上に置かれるセットから光、音まで含めて、完璧に構築することのできる大島早紀子は、その時、魔法を使える女司祭のように見えた。

あれから8年、ストラヴィンスキー生誕の地であるサントペテルブルグを含むロシア・ヨーロッパツアーでの上演を終えて、

生誕の地とも言えるKPOキリンプラザ大阪で上演される「春の祭典」は、単なる再演という枠を超えて“ありえないもの”を見ることが出来る予感がする。

そして、今回のひとつの試みである小品へのトライは、それがKPOキリンプラザ大阪という場所を考えると、これまた興味深く、心が躍る。

立川直樹(プロデューサー)

事件における被害者と傍観者の物語。

社会の犠牲者としての被害者の姿を傍観者との対比の中で描く。

事件は加害者と被害者から語られることが多いが、ここには加害者は登場させず、傍観者というものの暴力性、視線の暴力だけがある。

事件を外から見ている傍観者は、ある意味で加害者より切迫した暴力性を現代の生け贄(被害者)に、突きつけている。

ストラヴィンスキーの「春の祭典」は原理的かつ残忍な主題のうちに歓喜と必然が恍惚と渦を巻く名曲である。

同曲に内在する破壊的なエネルギーと頂点に達する緊張感、春を迎えるための儀式の中に蓄積されていく。

しかし、ここでいう「春」は私達日本人が抱く優しく淡い春ではない。ロシアのまるで、大地が音を立てて割れるかのような荒々しい春だ。

恐ろしい「変化」としての春である。新たな変化を待つための緊張と不安は時代の大気の中に蓄積されている。

現代社会は、変化という「春」を待っている。そして、時代は無意識にあらゆる生け贄を選んでいる。

「春」を迎えるための犠牲者はあなた、そして私かもしれないのだ。(「春の祭典」創作ノートより抜粋)

大島早紀子(演出・振付家)

# H・アール・カオス H.ART CHAOS (えいち・あーる・かおす)

H・アール・カオスは、1989年、演出・振付家の大島早紀子とダンサー白河直子により設立。

独自の美意識と哲学に支えられた大島の空間感覚溢れる作品と、衝撃的な天才ダンサー白河の究極の身体造形により、国内外で圧倒的支持を集めている。

日本のトップダンスカンパニーとして、海外フェスティバルからの招聘も数多く、国内外の様々な都市で公演を実施している。

2000年には「秘密クラブ...浮遊する天使たち2000」の北米ツアーでNYタイムズが選ぶ同年のダンス・オブ・ザ・イヤーに選ばれたほか、1993年キリンコンテンポラリーアワード優秀賞、第29回・第34回舞踊批評家協会賞大賞、第1回朝日舞台芸術賞、第25回ニムラ舞踊賞など国内の受賞も多数。

今回の演目である「春の祭典」は、1995年に東京の草月ホールにて第2部のみで発表、その後、1996年に第1部を加えた作品としてKPOキリンプラザ大阪において初演。

以降東京、大阪、名古屋、淡路島、宮崎、上越、ワシントンDC、ピッツバーグ、シアトル、トロント、オタワ、モントリオール、バンクーバー、デュッセルドルフ、リンツ、ソウル、シンガポール等の各都市を廻り、ゆく先々で大絶賛を浴びているカンパニー代表作の一つである。愛知県芸術劇場大ホールでは100名のフルオーケストラ演奏で上演したほか、淡路花博オープニングでの屋外公演等、2000席を超える大劇場でも数多く上演している。97年の北米ツアーでは、トロント、モントリオール、ピッツバーグのそれぞれの都市で年間最優秀作品に選出された。今回のKPOキリンプラザ大阪での公演直前には、ストラヴィンスキー生誕の地であるサントペテルブルグを含むロシア・北欧・東欧ツアーがあり、現地でも大きな期待を持って注目されている。



OSHIMA Sakiko

SHIRAKAWA Naoko

4月16日(金) 開場18:30 開演19:30 4月17日(土) 開場18:30 開演19:30 4月18日(日) 開場15:00 開演16:00

# KPO キリンプラザ大阪 H・アール・カオス「春の祭典」+「小作品(新作)」

構成・演出・振付：大島早紀子 出演：白河直子、木戸紫乃、泉水利枝、小林史佳、齊木香里

照明：笠原俊幸 舞台監督：高田憲治 音響：友部秋一

プロデューサー：立川直樹 企画制作：H・アール・カオス/有限会社東京アートファクトリー

主催：KPOキリンプラザ大阪 URL：http://www.kirin.co.jp/kpo/

料金：当日券5,000円(前売り券4,500円) チケット発売日：3月6日(土)

問い合わせ先：KPOキリンプラザ大阪 06-6212-6578 チケット取扱：チケットびあ 0570-02-9999

〒542-0084 大阪市中央区宗右衛門町7番2号 TEL 06-6212-6578 FAX 06-6213-3166

